

展示会出展報告

安藤 浩史 * 大日方 恵典 **
Ando Koji Ohikata Keisuke

1. メッセナゴヤ 2009 出展

「名古屋最大級の異業種交流の祭典」と称して「安心・安全・信頼」をテーマに2009年11月11日～11月14日に開催された「メッセナゴヤ2009」にIICとして初めて出展し、中部地区でのIICの知名度向上を主目的として「安心・安全・信頼」のテーマに沿って、非破壊検査、損傷調査を中心にIICの複合サービスを紹介した。

各地で開催されている展示会是不景気の影響で、出展社が減っていると言われていたが、本展示会の今年の出展社数は、343社・団体（724小間）と昨年度（342社・団体：741小間）より1社増加しており、本展示会の注目度が高かったようである。



写真1 メッセナゴヤ 2009 IICブース

会期中の総来場者数は44,119名で、IICブースにも多数の来場者が有り、それぞれ課題をもって熱心に質問される方が多かった。

【IICの出品品】

損傷調査（金相試験、化学分析、機械試験、応力測定、物性試験等の複合サービス）：パネル展示

非破壊検査技術（委託X線検査、高精度渦流探傷検査技術）：パネル展示

X線回折式残留応力測定装置（X Stress 3000）：デモ機、デモ映像展示

各種自動車関連性能試験装置：パネル、デモ映像展示

2. 東京国際航空宇宙産業展 2009 出展

「日本の航空宇宙関連産業の技術の高度化と新興」を目的として2009年11月4日～6日に開催された「東京国際航空宇宙産業展2009」に「航空宇宙業界へのPRおよび更なる事業展開を図るための情報収集」を主目的としてIICとして初めて出展し、IICが持つ技術・製品の中で航空宇宙産業に適用可能な、複合材料に対するAE（アコースティックエミッション）技術等の検査サービス、材料試験・損傷調査等の計測サービス、精密加工、ZYGLOを紹介した。

* 営業統括部 中部営業所 所長

** 営業統括部 第1グループ

本展示会には主要な重工業会社の他、系列の中小メーカーが多数出展していたが、中でも大田区、相模原市、栃木県といった地方自治体が地元の企業を統合して合同出展を行っている点が特徴的であった。

また早稲田大学、東京理科大学等の航空宇宙関連研究室も独自のブースを出展するなど、航空・宇宙業界に携わる大小様々な規模の企業、自治体、大学が参加していた。

中小企業総合展 2009、産業交流展 2009 と同時開催されており、会期中の総入場者数は 21,821 名で、IIC ブースにも多数の来客があった。

IIC ブースへの来場者は、日本の宇宙開発を担う宇宙航空研究開発機構(JAXA)や各地の研究所、さらに中小の部品メーカーから技術系の商社まで幅広く、様々な業種に IIC の技術を PR することができた。また今回展示した技術の中では、CFRP 等の複合材に対する検査・計測サービスについて多くの問い合わせを頂き、特に AE、水浸 UT (超音波探傷)、といった先端の検査技術が注目を集め、日本経済新聞社から取材を受け、1月28日の日経産業新聞に『複合材の疲労測定』と

して AE が掲載された。

【IIC の出展品】

各種非破壊検査技術 (UT 技術、高精度 ET 技術、AE 技術への CFRP 適用) : パネル展示

各種計測技術 (材料試験、損傷調査、高温環境下でのひずみ、応力計測) : パネル展示

精密加工 (複雑形状加工技術、脆性材料及び新素材の研削加工技術) : パネル展示

ZYGLO (蛍光浸透探傷剤) : パネル、実物展示

IIC のアクティビティ (全社での事業領域に関して) : パネル展示

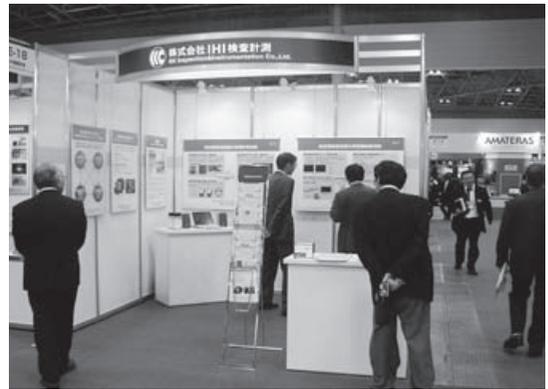


写真 2 東京国際航空宇宙産業展 2009 IIC ブース



営業統括部
中部営業所 所長
安藤 浩史
TEL. 052-583-6855
FAX. 052-565-7709



営業統括部
第 1 グループ
大日方 恵典
TEL. 03-3778-7938
FAX. 03-3778-7952